研究キーワード
居場所, 歴史遺産, フードスケープ, 過疎地, ごちゃまぜ

浅川 滋男

教授

ASAKAWA, Shigeo

所属…環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻

URL 研究室ブログ http://asaxlablog.blog.fc2.com/　E-mail asax@kankyo-u.ac.jp

Profile

■主な担当科目　歴史遺産保全論, 地域生活文化論, 住まいと建築の歴史, 人間環境実習･演習A･B, 人間環境概論

■研究者略歴

1979（昭和54）年 3月	京都大学工学部建築第２学科卒業
1981（昭和56）年 3月	京都大学大学院工学研究科修士課程修了
1982（昭和57）年 9月	北京語言学院で中国語を研修
1983（昭和58）年 8月	同済大学（上海）留学（～ 1984年8月）
1987（昭和62）年 3月	京都大学大学院工学研究科博士課程単位取得
1987（昭和62）年 4月	奈良国立文化財研究所入所
1991（平成 3）年 4月	学術振興会特定国派遣研究員（中国社会科学院考古研究所等，～7月）
1994（平成 6）年 4月	京都大学大学院人間・環境学研究科併任助教授（住環境保全論～ 2001年１月）
1997（平成 9）年 4月	奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部遺構調査室長（～ 2001年3月）
2001（平成13）年 4月	鳥取環境大学環境情報学部環境デザイン学科教授
2005（平成17）年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科教授
2009（平成21）年 4月	鳥取環境大学大学院環境情報学研究科長（～ 2012年3月）
2012（平成24）年 4月	鳥取環境大学環境学部環境学科教授
2015（平成27）年 4月	公立鳥取環境大学環境学部環境学科教授，大学院環境情報学研究科教授
2016（平成28）年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科環境学専攻教授

Research

■取得学位　工学博士（京都大学）

■専門分野　住環境保全論, 居場所論, アジア民族建築／建築考古学

■現在の研究テーマ
・ブータン密教・ボン教の遺産と景観
・精進ソバ食, エスニック料理のフードスケープ
・居場所とマイノリティー高齢化過疎社会の双方向支援
・先史～古代の建築考古学
・ナマズ食の比較文化

■受賞歴
1996（平成 4）年12月　鳥取県優秀図書（『橋津の藩倉』）
2004（平成16）年 6月　東北建築賞（「御所野縄文博物館」）
2008（平成20）年11月　安土城・摠見寺再建学生設計競技「優秀賞」（研究室として受賞）

■所属学会　日本建築史学会，日本中国考古学会

■資格　木造建築士，２級建築士

Data

■研究等活動

【著書】
・『チベット仏教求法僧 能海寛と宇内一統宗教－明治の国粋とグローバリズム』（編著）2021年
・『建築フィールドワークの系譜』（共著）2018年
・『建築考古学の実証と復元研究』（単著）2013年　・『出雲大社の建築考古学』（編著）2010年
・『埋もれた中近世の住まい』（編著）2001年　・『離島の建築』（単著）2000年
・『先史日本の住居とその周辺』（編著）1998年
・『住まいの民族建築学　―江南漢族と華南少数民族の住居論―』（単著）1994年

【論文】
・「ブータンが教えてくれた居場所のあり方」（単著）2022年
・「菅原遺跡『円堂』の復元」（共著）2022年
・「家庭処処－回憶八十年代」（中文・単著）2021年
・「従東大寺頭塔看宝塔的起源－与藏伝仏教卒塔婆的結構和配置相比較」（中文・単著）2019年
・「科学性年代測定和建築史研究－日本木造建築構件和不丹夯土版築跡的分析－」（中文・単著）2019年
・「『賽の河原』の風景－摩尼山地蔵堂の考証と復元－」（単著）2019年
・「西ブータンの崖寺と民家－八地区を中心に－」（共著）2018年
・「日本的建築考古学－魏志倭人伝和三世紀的大型房子」（中文・単著）2018年

【報告書】
・『居場所とマイノリティーブータンとウクライナ, そして過疎社会－』2023年
・『ブータンの風に吹かれて－中後期密教空間の比較文化－』2022年
・『古民家「終活」の時代』2021年
・『能海寛を読む－「世界に於ける仏教徒」の口語訳と批評－』2020年
・『魏志倭人伝を読む－後漢書倭伝・魏志倭人伝・宋書倭国伝－』2019年
・クンサン・チョデン『メンバツォー炎立つ湖－』『心の余白』『グルリンポチェがやってくる』（訳）2015～2017年
・『大雲院の建造物と仏教美術』2017年『大雲院仏教美術品目録』2016年
・『倉吉の歴史まちづくり』『地蔵盆を未来へ－倉吉の歴史まちづくり（Ⅱ）－』2015～2016年
・『近世木造建造物の科学的年代測定に関する基礎的研究』2015年
・『聖なる巌（いわお）－窟（いわや）の建築化をめぐる比較研究－』2013年
・『摩尼寺「奥の院」遺跡－発掘調査と復元研究－』2012年
・『大山・隠岐・三徳山－山岳信仰と文化的景観－』2011年

■社会貢献活動
・登録記念物「摩尼山」活用整備委員会委員長　・中村元記念館東洋思想文化研究所研究員
・中国西南民族研究学会東アジア人類学専門委員会特別委員
・仙台市「縄文の森」復元建物整備指導委員

分野　観光交流／街づくり／地域振興／教育・人材育成

キーワード　避難民支援／ウクライナ／民族音楽／ごちゃまぜ／ブータン／チベット仏教／蕎麦／ウェルビーイング／居場所／過疎

避難民の支援と人類社会の未来像
ー多民族共生／ごちゃまぜ型の居場所に関する考察

環境学部 環境学科
大学院 環境経営研究科 環境学専攻
教授
浅川 滋男
ASAKAWA, Shigeo

研究内容

ロシアによるウクライナ侵攻で発生した避難民は1,400万人、日本にも千人余が避難してきている。避難民の受け入れを多民族共生社会への第一歩としてとらえ、在日ウクライナ避難民の支援活動に取り組むとともに、多民族共生／ごちゃまぜ型の未来社会へ向かうための居場所論的考察を試みる。在日ウクライナ人の音楽家（竪琴奏者）、ナターシャ・グジーさんの活動に焦点をあて、全国をまわるCFU47（Charity for Ukraine）ツアーを支援する。また、避難民の生活支援は「衣食住・雇用就学・言語習得」のパッケージと考えている。とくに、避難民の日本語教育に関心があり、日本語学校と連携し、初級日本語の教育に取り組む。

このような取り組みは過疎地の地域振興とも直結する。石川の佛子園が掲げる「ごちゃまぜ」という概念（障碍の有無、性別や年齢、国籍や文化、性的指向などを認め合う）は多民族共生の考え方と一致する。佛子園の理念は青年海外協力協会JOCAが受け継ぎ、過疎地振興に活かしている。我々もこうした活動を見習い、長年文化財保護活動に取り組んできた摩尼寺の門前精進料理茶屋の再興に活かす。とくに佛子園がブータン高地貧農支援のために輸入しているソバに注目している。閉業した精進料理屋を、「山中の（ブータン）蕎麦屋」として再興する可能性を模索する。2012年以降、フィールドワークを続けているブータンは平和と幸福（ウェルビーイング）の国であり、人間の居場所を考察する上で示唆に富む。このような観点からも多民族共生／ごちゃまぜ型の居場所について考える。

想定パートナー

JICA、JOCA、佛子園、避難民支援機関、日本語学校

応用分野

山林仏教寺院、宗教、蕎麦屋、精進料理

取組実績

【論文等】

1. 吉田健人・浅川（2016）「ブータンの崖寺と瞑想洞穴」『公立鳥取環境大学紀要』第14号：pp.51-70
2. 浅川・大石忠正・武田大二郎・吉田健人（2017）「ブータンの崖寺と瞑想洞穴（2）－第4次調査の報告－」『公立鳥取環境大学紀要』第15号：pp.63-81
3. 浅川・大石忠正（2018）「西ブータンの崖寺と民家」『公立鳥取環境大学紀要』第16号：pp.PR1-PR17
4. 浅川（2019）「奇跡の雪山－ブータンとチベットの七年間－」『こちら公立鳥取環境大学環境学部です』今井出版：pp.110-125
5. 浅川編（2021）『チベット仏教求法僧 能海寛と宇内一統宗教－明治の国粋とグローバリズム』同成社：386p.
6. 浅川他（2022）「菅原遺跡『円堂』の復元」『古代』149号：pp.69-90、早稲田大学考古学会
7. 浅川編（2022）『ブータンの風に吹かれて－中後期密教の比較文化－』科学研究費（C）報告書、公立鳥取環境大学：100p.

【ブータン民話絵本の翻訳】

8. クンサン・チョデン著（浅川監訳2015）『メンバツォー－炎たつ湖』公立鳥取環境大学保存修復スタジオ：74p.
9. クンサン・チョデン著（浅川監訳2016）『心の余白－わたしの居場所はありませんか－』公立鳥取環境大学保存修復スタジオ：76p.
10. クンサン・チョデン著（浅川監訳2017）『グルリンポチェがやってくる』公立鳥取環境大学保存修復スタジオ：100p.
11. ペマ・ギャルツェン著（浅川監訳2019）『ラ・ジャー天の鳥』公立鳥取大学保存修復スタジオ：102p.

【県内霊山・仏教寺院等に係わる報告書】

12. 浅川編（2011）『大山・隠岐・三徳山－山岳信仰と文化的景観－』平成22年度鳥取県環境学術研究費助成研究成果報告書：110p.
13. 浅川編（2012）『摩尼寺「奥の院」遺跡－発掘調査と復元研究－』平成22～24年度科学研究費補助金基盤研究（C）・平成23年度鳥取県環境学術研究費助成研究成果報告書：122p.
14. 浅川編（2013）『聖なる巌－窟の建築化をめぐる比較研究－』平成24年度鳥取環境大学特別研究&平成22～24年度科学研究費補助金基盤研究（C）成果報告書：124p.
15. 浅川編（2015a）『近世木造建造物の科学的年代測定に関する基礎的研究』平成26年度鳥取県環境学術研究費助成（地域部門）成果報告書：130p.
16. 浅川編（2015b）『思い出の摩尼－建造物の調査と景勝地トライアングルの構想－』平成26年公立鳥取環境大学特別研究費助成成果報告書：82p.
17. 浅川編（2017）『大雲院の建造物と仏教美術』平成28年公立鳥取環境大学特別研究費助成成果報告書：138p.
18. 浅川編（2020）『古民家「終活」の時代』令和2年度公立鳥取環境大学特別研究費助成成果報告書：p.160

【文化財保護の実績（霊山関係のみ）】

19. 国登録有形文化財（2014）：摩尼寺本堂・鐘楼・山門（鳥取市覚寺）
20. 国登録記念物（2016）：摩尼山（鳥取市覚寺）
21. 国登録有形文化財（2016）：旧小倉家住宅（倉吉市河原町）